

開催日	2024年9月28日(土)
開催時間	13:30～16:50
名称	海洋鉱物資源開発と環境保全
主催	(公社)日本技術士会神奈川県支部
開催場所	産業貿易センター B1F B102 号室 および Web 中継
行事内容	講演会
参加人数	45名(会場12名+Web 33名)

内容

I 講演概要

【講演1】メタンハイドレート生産開発と土壌・地下水汚染評価

講師:坂本 靖英 氏 (博士(工学))

国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地圏資源環境研究部門 総括研究主幹
兼務:地圏メカニクス研究グループ長

日本近海の海底下に存在が確認され、将来のエネルギー資源として開発の期待されているメタンハイドレートの生産手法開発に関して、多孔質体における反応を伴う熱・物質移動に関する実験および数値解析を基盤技術とした講演者のこれまでの研究開発について紹介された。加えて、土壌・地下水汚染対策の実施において、環境リスクの考え方の導入による事業所等における土壌・地下水汚染の長期挙動予測や、浄化対策によるリスクの低減効果に関する評価事例を紹介された。

【講演2】海洋鉱物資源開発に向けた国内外の最新動向 ～開発推進と環境保全の両立を目指して～

講師:岡本 信行 氏 (博士(理学))

深海資源開発株式会社 海外業務部長、(兼)技術部次長

前JOGMEC金属海洋資源部、前国際海底機構法律・技術委員

日本は陸域のエネルギー・鉱物資源に乏しく、その大半を海外からの輸入に頼っていますが、我が国周辺海域にはメタンハイドレートや海底熱水鉱床などの海洋エネルギー・鉱物資源の賦存が確認されている。これらの資源を開発していくためには、資源量評価、生産技術の開発や環境への影響把握等の取組を着実かつ中長期的な視点から計画的に推進していく必要がある。

世界的に開発競争が激化している海洋鉱物資源(海底熱水鉱床、コバルトリッチクラスト、マンガン団塊等)に焦点を絞り、これらの開発と環境保全に向けた日本の取り組みと世界の最新動向について紹介された。



講演 1:坂本靖英氏



講演 2:岡本信行氏



会場風景